

【別紙様式】

坂戸市は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。

事業名	コロナ患者受入施設支援事業		
総事業費 (千円)	29,480千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	29,480千円
事業概要	<p>①目的 社会医療法人刀仁会坂戸中央病院は、新型コロナウイルス感染者の受入を行っており、市内で唯一入院用のベッドを確保し対応しているほか、発熱外来を設置し、コロナ禍における医療提供に努めている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の診断にはPCR検査が有効だが、速さや正確性において、新型のCT撮影装置を導入することで、感染状況や重症度を判断する上で精度や迅速性の向上が期待できる。同院における現状の患者受け入れ体制は、埼玉県が行う新型コロナウイルス感染症重点医療機関の補助要件に該当しないことから、市民が安心して医療が受けられるよう医療基盤の確保のため市として支援を行う。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 補助額29,480千円（CT撮影装置購入費の一部に充当）</p> <p>③交付対象 1) 交付対象者 社会医療法人刀仁会坂戸中央病院 2) 交付対象者の選定理由・選定方法 現状において、市内で唯一の新型コロナウイルス感染者の入院を含む受入を行っている医療機関のため支援を行う。</p> <p>④期待される効果 同院の医療体制が向上することにより、市民の安心に繋がる。</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	<p>同院においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により経営環境も厳しさを増していることから、新型コロナウイルス感染症への対応に効果が期待できる医療機器の整備を支援し、医療体制を整えることが市民の生活の安定に寄与するとともに、地域の活力維持にも資するため、市として地方創生臨時交付金を活用し支援を行うことが妥当である。</p>		